



一般社団法人 大和青色申告会 青年部通信 「ブルーウェーブ」

発行責任者 青年部長 下田 兼 義  
発行 一般社団法人 大和青色申告会 青年部

## 街頭献血呼び掛け運動を実施しました。

10月18日(水)街頭献血呼び掛け運動を実施しました。本年度28年連続の実施となります。

午前は大和税務署の駐車場で、藤田署長様はじめ、多くの署員の方にご協力をいただいた結果、受付数、献血数は昨年を上回る結果となりました。平成27年から大和税務署の駐車場に献血バスを配置していただき、署員の方にご協力いただいております。大変感謝しております。

午後は大和駅前会場を移動しての再開となりました。本年度も



吉川会長、笹本支部長、遠いところ毎年お越し頂き、ご協力いただいている小田原青色申告会青年部の三浦さん、事務局の野中さんがプラカードを持って、献血を呼び掛けて下さいました。

昨年までと違うところは、今年高校生が積極的に献血に協力してくれたことです。少子高齢化の進行により、これからの献血を支えるのは10代20代です。若い世代の協力が無いと、近い将来、血液を必要とする患者さんに、血液を届けることができなくなるおそれがあります。

青年部は今後も街頭献血の呼び掛け運動を実施してまいります。献血で、多くの患者さんの命が救われます。皆様の献血へのご協力をお願いいたします。

原稿 事務局 渡辺

## 街頭献血結果のご報告

	受付数			献血数		
	200ml	400ml	成分	200ml	400ml	成分
	7	57		7	41	
合計	64			48		

ご協力ありがとうございました。

## 当会青年部が神奈川県厚木保健福祉事務所長表彰を受賞

平成8年から、毎年、献血活動に貢献した功績により、当会青年部が献血推進功勞として、神奈川県厚木保健福祉事務所長表彰を受賞しました。

11月17日 神奈川県厚木保健福祉事務所 大和センター講堂にて表

彰式が行われ、下田青年部長に表彰状が贈呈されました。



## 表彰状

一般社団法人 大和青色申告会 青年部 殿

あなたがたは献血の重要性を深く認識し、献血思想の普及と運動の推進に尽くされ、ため表彰します

令和5年10月17日

神奈川県厚木 保健福祉事務所

所長 佐々木 つぐ巳



# 青年部主催ブルーリターンA講習会を開催！

令和5年11月23日(木)に渋谷学習センターにおいて、会場参加とオンライン参加の同時開催で、大和青色申告会青年部主催の「ブルーリターンA講習会」が開催されました。講師は私が担当し、初心者コース、経験者コースの2部構成で実施しました。祝日ということもあり、参加者は延べ81名と昨年よりも多くの方が受講されました。当日ご出席いただいた方にアンケートへのご協力をいただきました。次年度に向けて改善できるところは、改善し、充実した内容となるように役員会で検討させていただきます。

原稿 事務局 渡辺



青年部公式LINEアカウントにご登録いただくと、当日のブルーリターンA講習会の動画URLを通知いたします。参加できなかった方、もう一度聞きたい方はぜひご登録下さい。  
(2024年1月10日通知予定)

# 県連・全青色青年部参加報告

## 神奈川県連青年部研究集会

11月7日、石川町のかながわ労働プラザに於いて、神奈川県連青年部の研究集会が開催されました。講師に横浜中税務署 大上特別記帳指導官をお迎えして、令和6年1月1日から始まる「改正電子帳簿保存法」についての概要や留意点を学びました。電子帳簿保存法自体は平成10年から施行されています。その後、税務署の承認要件や電子データ保存要件など、数度の変更を経て見直し・改正されてきました。そしてついに来年からは電子帳簿等保存制度の一部が義務化になります。ここまで聞くとなんか電帳簿に馴染みませんが、義務化されるのは電子取引情報に関してです。取引上メール等で行われた見積書や請求書・領収書等の「電子取引データ」は紙で出力・保存することではなく、電子的に保存することになりました。

電子帳簿保存法は、「納税者の国税関係帳簿書類の保存に係る負担の軽減等を図るために、その電磁的記録等による保存等を容認しようとするもの」とされています。パソコンへの慣れは必要ですが、紙の書類を束にして持っているよりもパソコン上で管理したほうが後から見直したり整理するのが簡単でできると思います。現在、個人事業者の皆さんもパソコン会計を導入していますが、これからはさらに会計ソフトの利用も進むかと思えます。手書きの申告書が懐かしくなるのもそんなに遠い話ではないかもしれません。

研究集会終了後、場所を変えて！？未来の税制の話をしました。まだまだ時間はかかるとは思いますが、いざれ書類の保存だけでなく、帳簿類も会計ソフトを使った電子的保存が義務化されることになるとは思いません。おそらく税務調査もしやすくなっていくと思えますし、事業所に来なくても遠隔で調べることが出来ることもなるでしょう。これにAIが本格的に導入されれば毎年税務調査が来るかもしれません。なんていい加減なお話をたくさんしながら夜が更けていきました。

## 全青色青年部研究集会

11月21日、ビジョンセンター永田町に於いて全青色青年部理事会と研究集会が開催されました。例年、全国各地から青年部員が集まるのですが、今年はいつもとよりリアルでの参加会は少なめでした。ここ数年WEB会議が浸透してきた関係で地方からの参加者はネット経由が多くなりました。研修や会議はそれほど良いのですが、懇親会での発言は多様な意見が多く勉強になります。(余計なお話もあります(笑))さて、今年の研修は初めに千葉県青年部長の立身出世物語でした。米農家として生まれながら自動車関連の仕事に就くものの結局実家に戻りネギ農家として再出発し、最初こそ赤字を出しましたが今では東京ドーム4個分の農地で通年栽培を行い、令和4年度売り上げは1億3200万円になりました。見た目にはこやかなあちゃんですが本当はすごい努力家の方です。話していると感じませんが・・・。(失礼) まだまだ拡大したいと話していましたので、是非日

本一のネギ農家になって頂きたいと思えます。二人目は茨城県連の青年部長ですが、この方も実家の中華料理店を営んでいた父の跡を継いで、ネットと若手従業員との連携で売り上げを伸ばしている元気なお店屋さんです。しかし今回は事業の話ではなく、いかにして地元の青年部員を増やしたか？というテーマでお話ししていただきました。ここでは書けない話(笑)が多いのですが、横のつながりと友達の和を最大限利用してこの人と思った時には思い切り懐に飛び込むことでまるで旧知の友人のように仲良くなり、気が付いたら部員になっていました。という流れを作ることには長けている方です。これはなかなか個人的な魅力にできる部分が大いなので、誰でもまねができるとは思いませんが、結局は人とのつながりをいかに結ぶかが重要なことだと気づかされました。他会の皆さんと交流を持つとこのように優秀な方やユニークな考え方に触れることが出来るので、本当に楽しいです。

懇親会の席では全青色青年部長の小沢さんの地元が愛媛松山になります関係で、地元選出の衆議院議員塩崎彰久先生がお見えになり全員と歓談され、青色会青年部を激励してくださいました。最近では政治不信(政治家不信?)を感じることも多いような気がしますが、我々有権者の意見を真剣に聞いてくれる方には頑張っていたいただきたいと思えます。

原稿 青年部長 下田 兼義



# 青年部 部員募集中!!

体験入部大歓迎

部費無料

全青色青年部研究集会

神奈川県連青年部研究集会